

<p>タイトル</p>	<p>2024 年度 一般入試（前期日程） 共同教育学部 小論文 1</p>
<p>評価の ポイント</p>	<p>小論文では、教職を目指すために必要な基礎学力，ものごとを複数の視点から考察し，判断する力，自分の考えを的確に表現し他者に伝えることができる力を評価した。評価にあたっては，次のような点を重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題のテーマをよく理解し得たか。 ・記述に当たっての論理の運びが正しく，論旨が明快であるか。 ・制限字数を満たしているか。極端に短い答案になっていないか。 ・志望する系・専攻の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を極端に外れる答案になっていないか。 <p>問1 「そろそろ<u>過去の間違い</u>を認め、共感力と科学技術を賢く使う方策を立てるべきではないか。」</p> <p>とあるので、共感力と科学技術を愚かに使った過去の出来事は何かを本文中から探す。</p> <p>よって大きくは、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「言葉」を、支配層が戦争を可能とするために社会の外に共通の敵を作って、成員を団結させるように使っていること ② 「科学技術」の発展に伴って自分の暮らしを豊かにしようという人の欲が、他の社会の成員を虐げ差別することを正当化していること <p>の二つの要素をあげて説明していることを評価のポイントとした。</p> <p>問2 筆者は、同パラグラフに次のようなビジョンを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「個人の欲求や能力を高めることよりも、ともに生きること ● 「管理された時間から心身を解放し、自然の時間に沿った暮らしをデザインする。」 ● 「所有を減らし、シェアとコモンズ(共有財)を増やして共助の社会を目指す。」 ● 「平等社会」 <p>これらのビジョンを踏まえ、環境や対象、他者を支配するために言葉を使うよりも、人類が言葉を獲得する以前に行っていた「共食や共同の子育てによる共感力の強化」や、「歌や踊りなどの音楽的なコミュニケーション」を重視し、「弱みを強みに変える」ような人のあり方が望ましいと考える筆者の主張に賛成／反対の立場から意見を述べられているかを評価のポイントとした。</p> <p>具体的なポイントは以下の通りである。①言葉の持つ力、②言葉以外の手段を用いた共鳴社会のそれぞれについて具体的に言及していること。筆者の主張に対して自身の考え（立場）を明確に主張していること。主張を支える根拠が示され、それが妥当かつ充分であること。</p>